

おれんじ

NO.90

発行日 2021.11.13
発行・編集 土佐女子中学・高等学校
高知市追手筋2丁目3番1号
電話 875-3111(代)

継続は力なり

校長 濱田 美穂



私の好きな言葉の一つに「継続は力なり」があります。この言葉は、卒業時の色紙や、著名人のサインなどでもよく見かけます。しかし、誰の言葉なのかはあまり知られていないのではないのでしょうか。一説には、住岡夜見という広島県出身の宗教家の言葉だといわれています。

住岡夜見は明治二十八年（一八九五年）、広島・芸北の地に生まれ、大正三年（一九一四年）、十九歳で広島師範学校を卒業後、郷里に近い小学校に赴任し、約十年間の教員生活を送りました。その後宗教家になり、四十一歳のとき名前を「夜見」と改め、昭和二十四年（一九三六年）、五十四歳で死去するまで宗教家としての活動を続けています。

左記は、夜見の『讃嘆の詩』の中の一節です。
青年よ強くなれ
牛の如く、象のごとく、強く

奉公に出され、三十四歳で起業するまでコツコツと努力した人でした。まさに裸一貫からのスタートだったと思われませんが、仕事がとても好きで八十歳で痛が見つかるまでは現役で働き通しました。さぞかし苦労があったことでしょう。しかし、父からはどんなに疲れているときでも「仕事がいやだ」「辛い」という言葉を一度たりとも聞いたことがありませんでした。とにかく仕事を大切にすることで、どこかに一緒に旅行に出かけたことなど一度もないまま他界してしまいました。今となっては、それはとても残念なことです。

私が幼いころ、まだ四歳ぐらいでしたか、日曜日には父の働いていた工場に連れて行ってもらう、針金やブリキでままごと遊びの皿やスプーンを作ってもらいました。それは小学校に上がるまで、私の宝物でもとても大事に使っていました。忘れることのできない懐かしい良い思い出です。

中国はまだ文化大革命が終焉を迎えておらず、国民のほとんどは人民服を着用し、駅では紅衛兵が鉄砲を肩にかけ検問をしていました。日本と比べると人々の生活はとも遅れており、誰にたずねてもみな、「一生懸命働いて自転車を買うのが夢である」と話してくれました。今の中国からは想像がつかない状況でした。北京飯店（ホテル）の入り口や駅前、大学の正門等にはいたるところに毛沢東主席の銅像が立ち並び、これも現在からはかけ離れた光景でした。

そんな中、政府からの招待を受け、北京の劇場で行われるバレエ公演を鑑賞できることになりました。かつてソ連（現在のロシア）に遠征した際に観た、ポリシヨイバレエ団の「白鳥の湖」の素晴らしさにも感激しましたが、北京での体験はそれに勝るとも劣らないものでした。「白毛女」という革命の演舞で、当時の中国ではとても有名な作品でした。バレリーナたちのスピード感に、劇場ならではの緊張感と迫力が伝わり、興奮すら覚えたことでした。

「継続は力なり」を実感した思い出深い出来事をも一つご紹介します。
時は過ぎ一九七一年、縁あって私はまだ国交回復が実現されていない中国に遠征するチャンスを得ました。北京・広州・杭州・南京等で行われた日中大会に参加するためです。現在のようには北京までの直行便はなく、香港からは国境の町深圳の鉄橋を歩いて中国に入国しました。

スピード感に、劇場ならではの緊張感と迫力が伝わり、興奮すら覚えたことでした。

▼生徒のみなさんへ
二期も半ばになりました。新学期に抱いた目標への努力は続いているでしょうか。何事もあきらめずに続けるということ、そう簡単なことではないと思います。かの有名な、ベンジャミン・フランクリン（米国独立運動の立て役者）は、「フランクリン自伝」の中で「やるべきことは実行する決心をする。そして決心したことは必ず実行する」と述べています。

青春の真っただ中にいる皆さんには、やるべきことは何なのかを早く見つけ、それぞれの目標に向かって悔いの残らないよう、それを継続してほしいと思います。青春は二度と戻ってはきませんので。

コンサートへと続く。ファッションショー風の制服紹介の後、校内見学の時間を利用して講堂全体を演技場に作り替え、いよいよ多くのお客様のお目当てのパフォーマンスが始まる。中四国大会二位のダンス部の演技のあと、バトンドレス部の演奏のあと、最後は渾身の書道パフォーマンスで万雷の拍手とともに部

休み期間ということで、生徒会の皆さんが浴衣姿でお迎えた。土曜日の短いひと時であったが、部活動体験を楽しんでもらえたようである。

活動見学へとフェイドアウトしていった。アンケートには予想通り部活動の演技に対する賞賛の言葉が多かったが、これは実力のほんの一端を垣間見ただけにすぎない。是非、入学して、その神髄を体験してもらいたいと願うばかりである。

令和三年十月二日（土）入試説明会が開催され、説明終了後にはダンス部、バトンドレス部、吹奏楽部、書道部によるパフォーマンスが行われました。その後は学校見学、部活動体験、寮の見学なども行われました。

八月七日（土）、夏のオープンスクールが開催され、百名を超える方々が来校した。夏

オープンスクール夏

入試説明会

コンサート

ファッションショー

ダンス部

吹奏楽部

書道部

パフォーマンス

学校見学

部活動体験

寮見学

入学式

歓迎会

体育祭

文化祭

卒業式

入学式

歓迎会

進路指導室から

進路部長 田村 弘

コロナウイルスの世界的な蔓延によって、これまでの『当たり前』だと見なされてきたことに大きな変化が起きています。長期に亘って全国一斉に学校が休校になって家庭待機となり、学校行事や部活動の大会等が中止されました。また、社会人も会社に出勤する必要がなくなるなど、これまでの『常識』が通用しない社会へと変化を遂げようとしています。リモートで会議や仕事をやる中で、マイナス面ばかりでなく利便性などのプラスの面に気付いたとの声もよく耳にします。

このような急激な社会の変化についていけない人たちもいます。従来の作業手順を「決まり事」として踏襲することで自身の考え方に固執し、変化をすれば利益がある場合でも現状を維持して変化することに過剰に反応してしまうことがあります。この心理状態のことを「現状維持バイアス（偏見）」といい、「変わらないこと」に安心感を得ているのかもしれない。

皆さんを取り巻く現代社会は猛烈なスピードで変化を遂げています。我が国は人口の自然減という新たなステージに突入し、各業界で人手不足となり、AIによる代替技術の開発が加速しています。

しかしながらほんの数十年前を振り返ってみると、バブル経済の終焉で景気が悪化したことで就職難の時代となり、「就職氷河期」と呼ばれていました。MDで音楽を聴き、女子短大に進学することが流行した時代もありました。このように『時代』の価値観は常に変化しており、これからの社会を担っていく皆さんは変化に対応できる柔軟な思考能力を身につけていくことが求められます。

中学校では今年度から新学習指導要領が全面実施され、知識の理解の質を高め、資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すこととなりました。英語では覚えるべき単語数が増加し、『脱ゆとり教育』が加速しています。教科書が難しくなったりと感じている人もいます。また、一年生ではタブレット端末を活用した授業が始まりました。

高等学校では来年度の一年生から年次進行で新学習指導要領が実施されます。共通必修科目に「情報Ⅰ」が設定され、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学習することになります。また、地歴・公民科では「公共」の新設など、科目編成・名称も大幅に変わります。

将来の大学入試に対応する科目履修が求められます。

昨年度の大学入試から、推薦書等に学力の三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について具体的に記載するように求められるようになりました。一部マスメディアでは、『知識偏重から思考力重視へ』と紹介されています。しかしながら、知識軽視ではないという点が重要です。

何の知識もなく「考えなさい」と言われても、十分に考えることはできません。知識を深く理解することではじめて『思考』の道具として使うことができるようになります。また、知識が乏しいと、自分の経験を抽象化・一般化できません。ゆえに、知識不足の状態ではレゼンテーションのスキルばかりを鍛えても、物事を深く理解する力や想像力が鍛えられていなければ、入試等の場面でも満足のいくパフォーマンスは期待できません。

十一月は高校三年生にとって学校推薦型選抜の入試日程にあたり、基礎学力テストや小論文、面接等の対策に不眠不休で取り組んでいる人々もいることでしょう。また、一月以降の大学入学共通テスト、一般入試に向かってラストスパイトで励んでいる人々もいます。この受験が、一人一人にとってより良いものとなるよう願っております。

R3.4 現在

過去3年間の大学別合格者数一覧 (のべ数・年度は入試年度)

大学名	合格者数																			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																	
茨城大	1			獨協大	1			日本大	3	1	1	大阪芸大	1	3		安田女子大	4	4	3	
お茶の水女子大	1			青山学院大	1			日本女子大	1			大阪経済大		2		広島国際大	2	2		
山梨大	1			亜細亜大		2		城西国際大			1	大阪商業大	2	2		四国大	1	2	4	
大阪大	1			大妻女子大	1			法政大	3	3	1	関西大	6	6	4	徳島文理大	23	10	19	
神戸大			1	北里大	1			明治大			1	大和外	2	1		松山大	15	11	6	
島根大	1	1		創価大		1		明治学院大			1	関西外大	3	4	4	高知学園大		12	12	
香川大		2	1	國學院大	1	1		立教大	1	1	1	近畿大	8	1	3	高知リハ専門職大		8	5	
愛媛大	1	1	1	国士舘大		2		学習院女子大	1	1		梅花女子大		1		福岡大		1	1	
高知大	9	10	7	実践女子大		1		昭知音大		1	1	桃山学院大		2		他	55	34	42	
熊本大			1	駒沢女子大	2	1		共立女子大		1	1	阪南大		3	3	計	212	209	203	
釧路公立大	4	5	5	昭和女子大	2	1	1	和洋女子大		1		追手門学院大		2		上智大短大部		1		
都留文科大			1	成城大	1			横浜薬科大	1	3		関西学院大		2	2	昭和音大短大部		1	1	
新潟県立大		1		専修大		1		中京大		1		甲南大	1	1	2	奈良芸術大			2	
長野大		1		立正大		1		人間環境大	1	1		甲南女子大	3	3	3	大阪音大短大部		1		
金沢美術工芸大		1		大正大		1	1	京都外大	2	2	2	神戸学院大	14	3	6	関西外大短大部		1	2	
神戸市外大	1	1		大東文化大		2		京都産業大	9	6	3	神戸女学院大	3	2		武庫川女子短大部		1		
鳥取環境大		1		帝京平成大			1	京都女子大	3	2	3	神戸女子大	6	11	5	神戸女短大		1	1	
島根県立大	1	2		帝京大	1	1		京都芸術大	2	1		神戸国際大		1	1	川崎医療短大		1	1	
尾道市立大		1		東海大	1	1	1	京都橘大	4	3	9	神戸松蔭女子大	1	6	1	高知学園短大		17	21	12
県立広島大		1		東京音大	1			京都光華女子大	1	4	1	神戸親和女子大	1	2		他	6	3	4	
福山市立大		1		東京家政大	1	1		同志社大		4	1	兵庫医療大		2	2	計	29	30	20	
高知工科大	7	7	5	東京家政学院大		1		同志社女子大	1	1	1	関西福祉大	3	3	3					
高知県立大	7	10	10	東京工科大			1	佛教大			4	奈良大		1	1					
北九州市立大			1	東京電機大		4		立命館大	1	1	1	岡山理大	2	2	4					
名桜大		1		東京経済大		2		龍谷大	6	3	1	川崎医療福祉大	1	3	2					
計	34	47	33	東洋大	1	2	2	大谷大		2	1	美作大	4	1	6					



文化祭

去る令和三年十月九日(土)、文化祭が開催されました。今年度は新型コロナウイルスの影響で午前中のみ縮小開催となりました。グラウンドでは書道パフォーマンス・講堂ではパトロン部・ダンス部・フォークソング部がステージで文化祭を盛り上げました。また、サブアリーナでは運動部によるS.A.S.U.K.E(障害物競走)が行われました。

その他の催しは以下の通りです。

- 中一 小松H(映えスポット) 蝶野H(黒板アート) 植谷H(ジェットコースターVR体験)
- 浜田千H(小鳥の休憩所)
- 中二 畑中H(緑日) 永坂H(イントロクイズ) 福本H(ゲームセンター) 織田H(緑日)
- 中三 森H(脱出ゲーム) 宮本H(謎解きゲーム) 瀬戸H(先生クイズ) 松岡由H(ジブリの国)
- 和田H(オタクの館) 戸梶H(映画「怨霊」)
- 岡本H(映えスポット)
- 高三 岡本H(映えスポット)

- 部活動 囲碁部・邦楽部・美術部・書道部
- 演劇部・茶道部・華道部・生物部
- 化学部・家庭科部・社会部・E.S.S部
- 紅茶研究会・マンガサークル・総合学習



宮本葉月

講演会

令和三年六月二十日(金)

去る令和三年六月二十一日、本校卒業生の宮本葉月選手が飛び込みで五輪代表に選出されたことを報告に瓶子コーチとともに来校し、講演会を行った。瓶子コーチも本校の89回生である。



東京五輪
飛び込み五位入賞
宮本 葉月
(一一六回生)

東京五輪女子シンクロナイズド飛び込み決勝は七月二十五日に行われ、本校卒業生の宮本葉月さんがみごと五位入賞を果たした。今回は夢を叶えた宮本さんと、それを支えたもう一人の卒業生、瓶子笑里佳さん(旧姓金森・八九回生)を紹介する。

宮本さんは県内のスイミングクラブ(高知SC)に所属し、高知から五輪を目指してきた。そこからつかんだ世界五位、まさに快挙である。そして、この快挙の裏にはもう一人の卒業生、瓶子笑里佳コーチの存在があった。宮本さんが小学生時代から高知SCで教えていた人物である。二人の人生が偶然にも交差した時、動き出した運命の歯車は、やがて五輪の東京招致決定を機に激しく回り始める。宮本さんが土佐女子中学に入学し

た年の出来事であった。そして翌年、それに出場すべく、コーチの瓶子夫妻とともに長い長い涙と汗の道のりが始まった。瓶子コーチは宮本さんの才能を見だし、宮本さんも高知を拠点に五輪を目指す覚悟を決めたのである。こうして始まった地方からのチャレンジに呼応するかのよう飛び込み台をはじめとする充実した環境が整えられた。それから七年、五輪出場決定の吉報が届いたのは今年の五月である。宮本さんがこれまでの支援に感謝を述べる映像が電波に乗って県内に流れた。

まざまな大舞台を経験し、苦境を乗り越えてきた者のもつ落ち着きと胆力が伺われた。二人の出会いによって生まれた夢の種は、やがて芽を出し、大輪の花が開いたのは今年、七月二十五日のことであった。五輪入賞という形で結実したのである。夢をつかみとった宮本葉月さんには心から祝福を贈りたい。そして、それを支えた瓶子コーチ、地方からでもできるという希望の光を高知で灯してくれた。このような素晴らしい卒業生がいることが、まさに土佐女子の誇りである。

六月二十一日、五輪出場場の報告に瓶子さんとともに来校した宮本さんの成長した姿はリモートで全クラスに放送され、「世界大会で味わった苦しさに比べれば五輪の最終予選はそれほどなかった。」というコメントからは、さ

まざまな大舞台を経験し、苦境を乗り越えてきた者のもつ落ち着きと胆力が伺われた。二人の出会いによって生まれた夢の種は、やがて芽を出し、大輪の花が開いたのは今年、七月二十五日のことであった。五輪入賞という形で結実したのである。夢をつかみとった宮本葉月さんには心から祝福を贈りたい。そして、それを支えた瓶子コーチ、地方からでもできるという希望の光を高知で灯してくれた。このような素晴らしい卒業生がいることが、まさに土佐女子の誇りである。



(写真左から) 瓶子さん、宮本さん、濱田校長

よわいっす踊り

令和三年九月二十九日(水)本年度は新型コロナ対策として運動会は中止されましたが、高三生によるよわいっす踊りは行われ、思い出づくりとなりました。



遠足

令和三年十月七日(木)、秋の遠足が行われました。行き先は以下の通りでした。

- 中一：室戸廃校水族館(雨：室戸ジオパーク)
 - 中二：海洋堂 Space Factory なんごく・秦山公園
 - 中三：海洋堂ホビー館・かっぱ館・「けやき」
 - 高一：土佐久礼大正市場
 - 高二：ゆとりすとパーク大豊
 - 高三：中井ホーム／鏡川源流憩いの広場
 - 高三：関口ホーム／土佐和紙工芸村くらうど
 - 高三：田村(知)ホーム
- ／道の駅とおわ四万十ジップライン
- 高三：川村ホーム／天狗高原
 - 高三：岡本ホーム／かわうそ公園





世界を目指す才能の芽 (マリンバ世界2位へ)



人は自分にどんな才能が眠っているのか、ほとんど気づきません。その眠れる才能と出会ったとき、人は大きく飛躍する可能性を秘めています。今回はそんな体験をした本校中学二年生、山口絢愛さん(写真)を紹介します。

小学四年生の時、同級生に誘われて、たまたま始めたマリンバ、その才能をマリンバの先生に見いだされ、めきめき力を伸ばしていったそうです。その後「KOB E国際音楽コンクール」では奨励賞を受賞し、小六の時には全国大会の本選考に残ったものの、コロナ禍のために東京大会は中止となりました。

そんな紆余曲折を経て今年、国際的な演奏家を輩出している「バンベルク国際マリンバコンクール」に出場し十三歳以下の部で二位に輝きました。「大会の結果はあくまで後からついてくるもの。作った人の思いを込めた、いい演奏をするのが目標です。」と語る謙虚な言葉にさらなる伸びしろを感じます。

さて、オリンピックキヤーの今年、本校の卒業生の宮本葉月さんが女子シンクロナビ込みで、みごと東京五輪の代表に選出されました。また、今年、卓球で世界を取った卒業生(冒頭写真)が校長として帰って参りました。時代を超えて、世界を目指す才能の芽が育つ...そのような何かがこの土佐女子にはあります。

令和3年度 主な受賞結果 (県体、市体は除く)

卓球	令和3年度高知県中学校夏季学年別卓球大会兼全日本カデット予選会	中2の部 優勝	中2 石川実鈴 (全国大会出場)
	第53回四国中学校総合体育大会卓球競技	団体2位 (全国大会出場)	土佐女子中学校
		個人9位	中2 西岡綾夏 (全国大会出場)
		個人10位	中2 石川実鈴 (全国大会出場)
	第52回全国中学校卓球大会	団体予選リーグ突破 (13歳表彰受賞) 決勝トーナメント1回戦敗退	土佐女子中学校
	令和3年度三重国体高知県予選会	3位 (高知県代表)	高3 横田 心
	令和3年度第74回四国高等学校卓球選手権大会	団体2位	土佐女子高等学校
	全国高等学校卓球選手権大会四国地区予選会	シングルス2位	高3 横田 心
令和3年度第90回全国高等学校卓球選手権大会	団体戦優勝	土佐女子高等学校 (全国大会追加出場)	
弓道	令和3年度第90回全国高等学校卓球選手権大会	団体戦出場	土佐女子高等学校
	個人戦出場	高3 横田 心	
テニス	第65回 高知県高等学校弓道春季選手権大会	団体 優勝	土佐女子高等学校
	第68回 高知県テニス選手権	ジュニアの部 18才以下ダブルス/準優勝	川村 理桜・小川 咲季 組
		ジュニアの部 16才以下シングルス/3位	杉村 リナ
令和3年度全国中学校テニス選手権大会 ダブルス高知県予選	3位	杉村 リナ・久川 茜 組	
ソフトテニス	第58回 青山整形杯 夏季ジュニアテニストーナメント	ダブルス/準優勝	杉村 リナ・久川 茜 組
	令和3年度高知県高等学校ソフトテニス春季大会	3位	藤宗 滯里・沖 あこ
水泳	第61回 全国中学校水泳競技大会	女子3m飛板飛込/7位	柳川 小夏
		女子高飛込/4位	柳川 小夏
		女子高飛込/3位	柳川 小夏
	第44回 全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会	女子3m飛板飛込/6位	柳川 小夏
		女子3mシンクロナイズド3位	柳川 小夏
		200m個人メドレー/優勝	山本 礼羅
	第72回 四国高等学校選手権水泳競技大会 ※2種目ともインターハイ出場	400m個人メドレー/優勝	山本 礼羅
		200m個人メドレー/優勝	山本 礼羅 ※国体出場決定
		400m自由形/優勝	山本 礼羅
	令和3年度高知県選手権水泳競技大会兼国体代表選手選考会	400m自由形/優勝	山本 礼羅
		800m自由形/優勝	山本 礼羅
		200m個人メドレー/優勝	山本 礼羅
	第89回 日本高等学校選手権水泳競技大会 競泳競技	200m個人メドレー	山本 礼羅
		400m個人メドレー	山本 礼羅
		女子100m平泳ぎ/3位	栗山 陽菜
第59回 四国中学校総合体育大会水泳競技	女子200m平泳ぎ/3位	栗山 陽菜	
	デュエットフリールーティーン/2位	千田 美空 ※国体本戦出場	
	デュエットテクニカルルーティーン/1位	千田 美空	
バドミントン	日本アーティスティックスイミング チャレンジカップ2021	デュエットフリールーティーン/2位	千田 美空
		デュエットテクニカルルーティーン/1位	千田 美空
		ダブルス/優勝	森 百香・黒石 愛奈 組
		ダブルス/準優勝	五十田彩乃・山脇理保子 組
		ダブルス/3位	横山 綾奈・利根 美咲 組
		ダブルス/4位	国廣 香菜・大宮 友果 組
	高知県高等学校春季バドミントン選手権大会	シングルス/優勝	黒石 愛奈
		シングルス/準優勝	森 百香
		シングルス/4位	横山 綾奈
		ダブルス/優勝	森百香・黒石愛奈 組 (国体四国予選に出場)
		ダブルス/準優勝	五十田彩乃・山脇理保子 組
		シングルス/優勝	黒石 愛奈
国体予選少年女子高知県選考会	シングルス/3位	利根 美咲	
	シングルス/4位	山脇理保子	
	団体/準優勝	土佐女子高等学校	
	ダブルス/ベスト4	森 百香・黒石 愛奈 組	
	ダブルス/1回戦	五十田彩乃・山脇理保子 組	
	シングルス/ベスト4	黒石 愛奈	
第69回 四国高等学校選手権大会	シングルス/ベスト8	森 百香	

バドミントン	令和3年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技大会	団体/全国大会出場	土佐女子高等学校
		ダブルス(全国)/ベスト32	森 百香・黒石 愛奈 組
		シングルス(全国)/ベスト32	黒石 愛奈
バドミントン	第59回 四国中学校総体 バドミントン競技の部	シングルス(全国)/2回戦	森 百香
		団体/出場	土佐女子中学校
		ダブルス/ベスト8	仙石日菜子・大宮 和花 組
バドミントン	JOCジュニアオリンピックカップ高知県選考会	ダブルス/1回戦	中島 愛奈・川窪里衣彩 組
		ダブルス/優勝	黒石 愛奈・利根 美咲 組 (全国大会出場)
		ダブルス/準優勝	五十田彩乃・山脇理保子 組
		シングルス/優勝	黒石 愛奈 (全国大会出場)
		シングルス/3位	利根 美咲
陸上競技	第59回 四国中学校総体 陸上競技の部	3年女子 100m/第2位	中山 莉唯
生物部	第45回 全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 出場		「身近な共感覚~感覚受容の多様性」文化連盟賞
演劇部	第45回 四国地区高等学校演劇研究大会		「幸福な職場」優良賞
作文	第18回 新聞感想文コンクール (高新会主催) 追加	最優秀	高3 竹下ことみ
		優秀	高3 安岡さくら
			高3 柏井美緒奈
			中3 津野 七咲
		優良	中2 古谷あいか
			高3 浜崎 凜音
		高3 山中 悠加	
		高3 頼 梨加	
		参加奨励賞	土佐女子高等学校
		銀賞	高1 渡辺 観聖 (31438作品のうち上位13~71)
		学校特別賞	土佐女子高等学校
奉仕活動	国際ソロプチミスト 日本西リジョンプロジェクト ガールズサミット	審査委員長賞受賞	高2 野川 愛梨
書道	高円宮杯日本武道館書道書道大展開覧会	日本経済新聞社賞	高3 柏井美緒奈
		高野山管長賞	中1 有光 由藍
		総長賞	中3 戸田あかり
		審査委員長賞	高3 柏井美緒奈
		学長賞	高3 池添 美月
射撃	第20回 四国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 BP40WJビーム・ピストル	書道美術館賞	高3 柏井美緒奈
			高2 國松 千聖
		女子個人戦/優勝	高1 阿部 花論
ダンス	全国高等学校ダンスドリル選手権大会2021 全国・四国大会	HIPHOP女子部門 (ダンス部)	土佐女子高等学校 (ダンス部)
		Medium編成/2位	
音楽	第45回 全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門	優良賞	土佐女子高等学校 (邦楽部) (全国5位~8位)
		高校 金賞・県代表	コーラス部
		高校 金賞・県代表	コーラス部
放送	第68回 NHK杯全国高等学校放送コンテスト 高知県大会	高校 金賞	コーラス部
		高校 奨励賞	コーラス部
		アナウンス部門/第1位	高2 楠瀬 瑠佳
		アナウンス部門/第4位	高2 那須野芭奈
		アナウンス部門/第6位	高2 安岡 佳保
		朗読部門/第1位	高3 坂本 佳穂
	第45回 全国高等学校総合文化祭放送部門	朗読部門/第2位	高3 金子 礼奈
		朗読部門/第3位	高3 安藤 和歌
		朗読部門/第4位	高1 川久保奈那子
		創作ラジオドラマ部門/第1位	高1 放送部
		創作テレビドラマ部門/第2位	高2 放送部
		アナウンス部門/全国大会出場	高3 竹下ことみ
マーチング	第34回 全日本マーチングコンテスト四国支部大会	朗読部門/全国大会出場	高3 金子 礼奈 高3 安藤 和歌
		アナウンス部門 /全国大会出場	中3 岡崎 文香 中3 酒井なつみ 中2 徳岡 天音
		朗読部門/全国大会出場	中3 中山 漣花
マーチング	第45回 全国高等学校総合文化祭パレード	高校以上の部/銀賞	吹奏楽部
バントワリング	マーチングバンド・バントワリング部門	出場	バント部